

学生のみなさんへ

まずお伝えしたいのは「安心して
新潟大学にいていいんだよ」とことです。
「こんな自分はだめだ」「この先どうなるんだろう」と
不安になったら相談してください。
私たちは、みなさんの困難さを少しでも軽くし
個性を生かして大学生活を
送ってもらうための支援を考えます。

特別修学サポートルーム

TEL 025-262-6300

✉ support-r@ge.niigata-u.ac.jp

受付時間 [平日] 9:00~17:00



〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
新潟大学 総合教育研究棟C棟1階
特別修学サポートルーム

Webページ▶

[iess.niigata-u.ac.jp/
ssc/support.html](https://iess.niigata-u.ac.jp/ssc/support.html)



大学生活に困難さを感じたら

特別修学サポートルーム



授業に参加できない、
レポートが書けない
自分は、ダメですか？

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

真の強さを学ぶ。

新潟大学
NIIGATA UNIVERSITY

2023年3月発行



Q 誰が相談にのってくれますか？

公認心理師、社会福祉士等の資格を持つ専門員が丁寧に対応します。

Q どのような流れで支援を受けられるのですか？



本人からの相談

- 1 本人とサポートルームで支援内容の検討
- 2 支援会議(本人・サポートルーム・関係する教職員)で合理的配慮を決定
- 3 各授業担当教員等による合理的配慮の提供

各機関と連携して学生を総合的にサポートします。

- 関係する学部等の教職員
- 学生支援相談ルーム
- キャリア・就職支援オフィス
- 保健管理センター
- 学外関係機関

Q 合理的配慮とは具体的にどんなことをしてくれますか？

Case 1

発達障がいがあるため、人の多い教室で試験を受けることが不安です。また、レポートが間に合いそうにありません。

合理的配慮の例

試験の別室受験やレポートの締め切り延長など(こちらから担当の先生に事情を説明します)



Case 2

聴覚障がいや視覚障がいがあり、授業についていくのが難しいです。

手書きやパソコンによるノートテイク、教科書の電子データ化など



Case 3

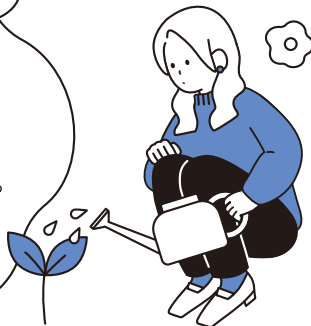
障がいや病気のため、就職できるか不安です。

個々の障がいの状況や就職の希望に合わせて、就職活動のサポート



Q どんな人が相談できますか？

発達障がい、精神障がい、身体障がい(視覚・聴覚・肢体不自由など)、
その他病気により修学に困難を抱える学生を対象としています。
※医師の診断がなくても構いません。



Q 相談するにはどうしたらいいですか？

じっくり話を聞くために、予約優先制としています。まずは電話かメールでご連絡ください。

まずは
電話か
メールで

特別修学サポートルーム 受付時間 [平日] 9:00~17:00

TEL 025-262-6300

✉ support-r@ge.niigata-u.ac.jp

Q どこで相談できますか？

総合教育研究棟C棟1階の特別修学サポートルームにお越しください。

